

# アンケート調査結果の概要

- ・ 事業者アンケート
- ・ 消費者アンケート

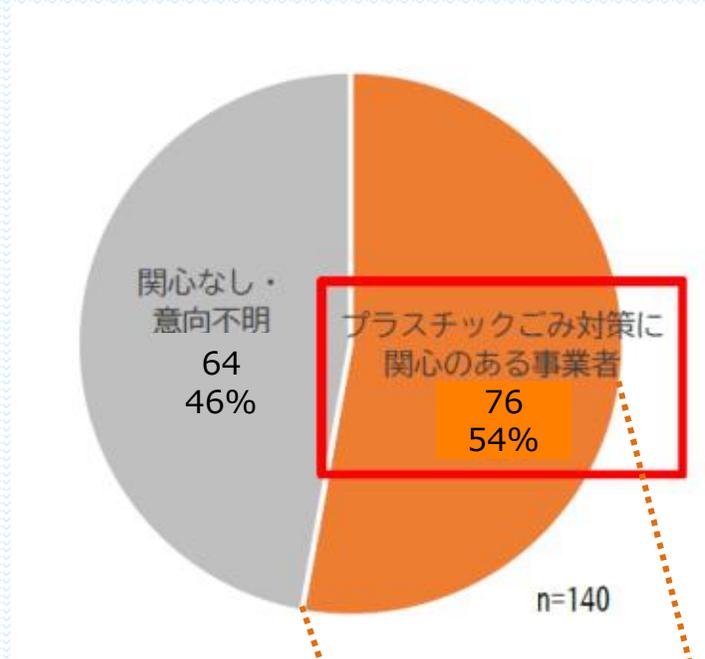
---

広島県 環境県民局 環境保全課

2026.2

- 趣旨  
プラスチックごみ問題への関心や、海洋プラスチックごみゼロを目指す取組「ACTION FOR ZERO Miyajima」への参加意向を確認するためにアンケート調査を実施。
- 調査対象  
宮島・宮島口地区に店舗を構える 140者（宿泊事業者、テイクアウト提供事業者）
- 手法  
郵送による書面調査及び訪問によるヒアリング

問. 「ACTION FOR ZERO Miyajima」は、プラスチックごみ削減・資源循環を図ることを目的とした事業です。プラスチックごみに対する関心について、当てはまるものを **1つ** お選びください。



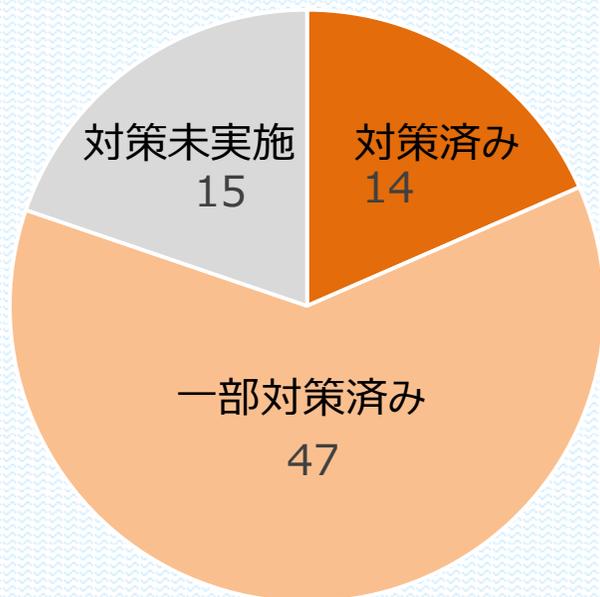
<回答の選択肢>

まったく関心がない	関心がない	あまり関心がない	少し関心がある	関心がある	とても関心がある
-----------	-------	----------	---------	-------	----------

## <関心のある事業者の意見>

- 当店に無断でゴミを捨てるなど、観光客によるゴミのマナーに関して懸念を抱いているから。
- 海ゴミ（特に牡蠣のパイプやチップ）で汚れてきているなど感じるから。海の目の前にお店があるので、海洋プラの問題はより身近で関心がある
- 近年の状況からゴミが増えているのは事実で何か取り組まないといけないと思っているが具体的には動けない状況。例えば、自店のロゴが入ったカップ等が捨てられていると心が傷む。良い機会であると思うし、取組自体には賛同している。
- 「プラスチック製品が絶対良くない」という風潮がまだ世の中の的にすごくあるわけじゃないと感じており、現時点で自分自身はあまりプラスチック削減に対しての意識が低い。

プラスチックごみ問題に関心のある事業者（76者）のうち、プラスチックごみ削減のために対策を実行しているか。



- 対策済み  
プラスチック商品をすでに代替済または、プラスチック製品を使用していない事業者  
⇒ 情報発信等への協力（4事業者）
- 一部対策済み  
プラスチックごみ対策に関する取組を行っているが代替商品の導入には取り組めてない事業者  
⇒ 使い捨てプラスチック製品の素材転換に参画（16事業者）
- 対策未実施  
プラスチックごみ対策に関心はあるが、自店で独自に取り組めていない事業者  
⇒ 使い捨てプラスチック製品の素材転換に参画（12事業者）

- アメニティーバーの設置（必要な方が必要なものを必要な分取る）アメニティーバーの棚も段ボール製を使用している。
- プラスチック削減の取り組みとして、当店では購入いただいたお客様を対象に、カップを持参いただくとお得な価格でおかわりができる制度を実施している。
- 脱プラスチックという社会的背景を踏まえ、当社では環境に配慮した商品の使用を方針としている。プラスチックごみ削減の取組として、ストローには紙素材を採用しているが、消費者からの評判は高くない。また、カトラリーには木製のものを使用し、環境負荷の軽減に努めている。
- 町内の清掃活動に参加している。

## <利用している使い捨てプラスチック品について>

- 安価だから
- サイズ感と使い勝手がいいから
- 商品の使いまわしと仕入れ方法（店舗まで配送してくれる）が自社にマッチしているから。
- もっと身近に購入できるようになると嬉しい。
- 現在使用しているテイクアウト用の容器代も価格が高く、容器代分を商品に上乗せはしているがそれでも採算が合っていない。

## <代替素材のニーズ> ※品目別に最も希望の多かった素材を記載。

### 一般事業者（飲食・物販店舗等）

- プラスチックカップ：「生分解性プラスチック」
- ストロー：「生分解性プラスチック」
- ビニール袋：「紙」
- テイクアウト容器：「バガス」
- カトラリー：「バガス」、「木」、「生分解性プラスチック」

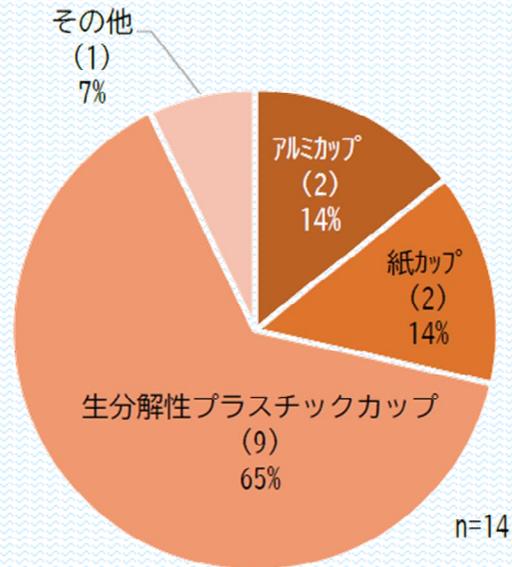
### 宿泊事業者

- アメニティ（歯ブラシ・クシ）：「竹」、「生分解性プラスチック」
- ペットボトル：「アルミ」
- ビニール袋：「紙」

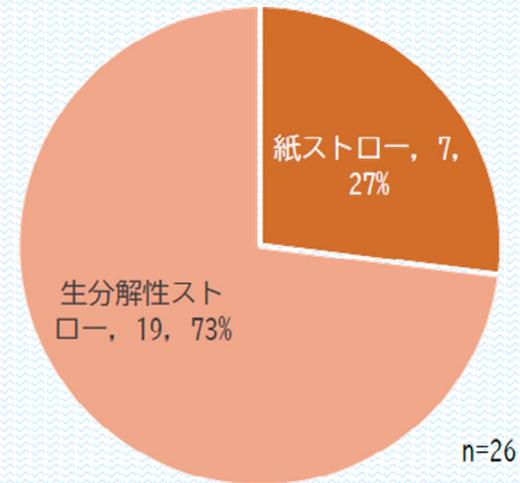
※黄色マーカーは  
本事業で対応した品目

# 【詳細】代替素材のニーズ（製品別の希望割合）

## <プラスチックカップ>



## <ストロー>



生分解性  
プラスチック製



アルミ製



リユースタンブ  
ラー・カップ



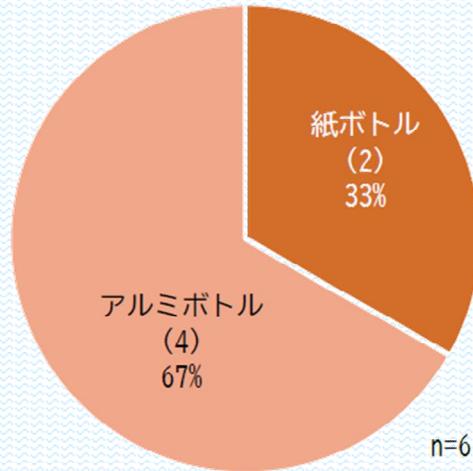
生分解性  
プラスチック製



紙製

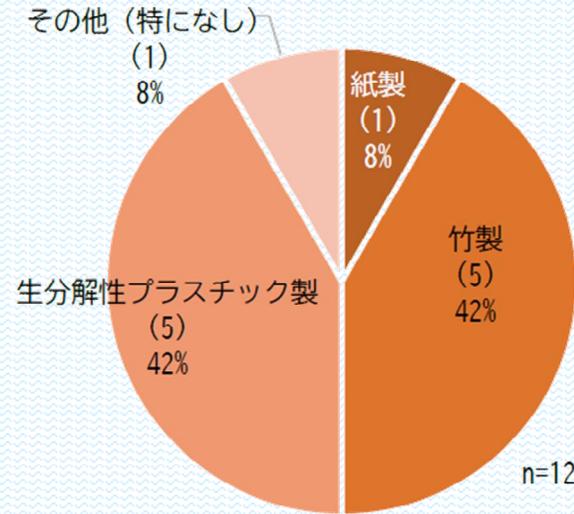
# 製品別のプラスチック代替素材の希望割合

## <ペットボトル>



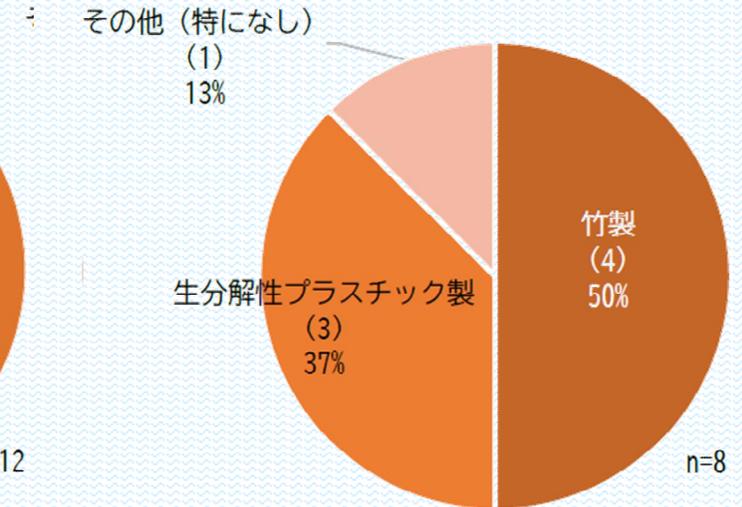
アルミボトル

## <歯ブラシ>



竹製

## <クシ>



海生分解性  
プラスチック製

# (参考) 実際の導入商品

## カップ (4サイズ)



## ストロー (2サイズ)



## アルミボトル缶 (1種類)



## 歯ブラシ・クシ (各1種類)



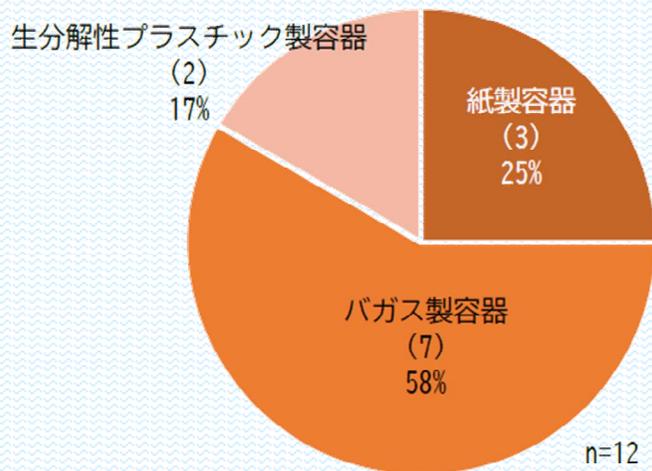
# 導入事業者一覧 (R8.2.17時点)



	店舗名	カップ	ストロー	アメニティ	アルミボトル
1	伊都岐珈琲 ※4店舗	○			
2	杓子の家	○			
3	宮島珈琲	○			
4	エピロ	○			
5	PROLU	○			
6	東洋観光	○			
7	元気うどん	○			
8	菊乃家	○			
9	MGOJI CAFE & GALLERY	○			
10	宮島コーラルホテル	○	○	○	○
11	KIMURA	○	○		
12	松大珈琲	○	○		
13	素の間	○	○		
14	勝谷菓子パン舗	○	○		
15	民宿かまだ	○		○	
16	旅彩のお宿 水羽荘		○	○	
17	たち花		○		
18	お食事処 みやじまぐち		○		
19	巖島東門前 菊がわ			○	○
20	HEM'S HOTEL			○	○
21	ペンションあんばらんす			○	
22	宮島四季の宿わたなべ			○	
23	湯の宿 宮浜グランドホテル			○	
24	旅館かんざき			○	
25	宮島シーサイドホテル			○	
26	おもてなしホテル			○	
27	さくらや			○	
28	国民宿舎みやじま杜の宿				○

# その他（本事業で未導入の品目）

## <テイクアウト容器>

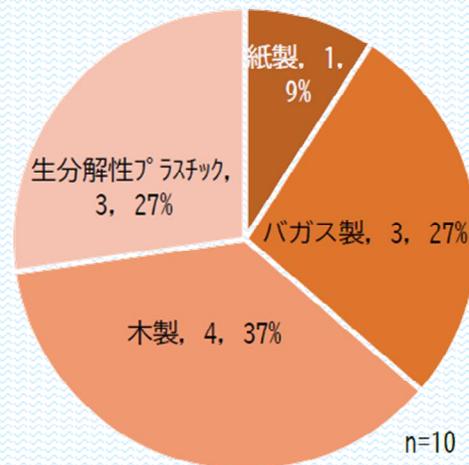


バガス製



紙製

## <カトラリー>



生分解性プラスチック製



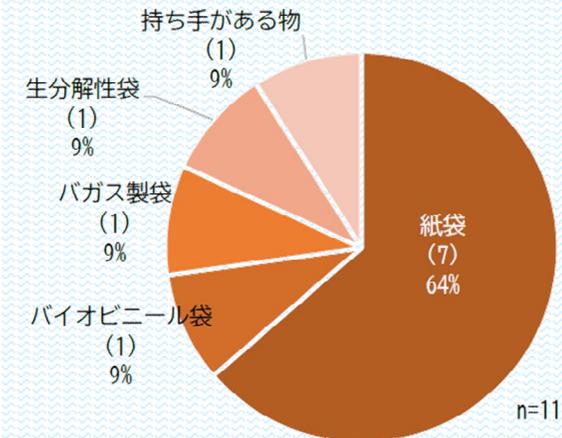
木製



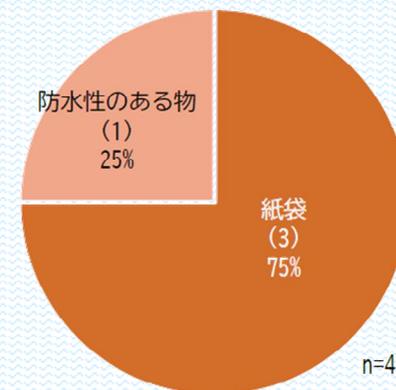
バガス製

## <袋>

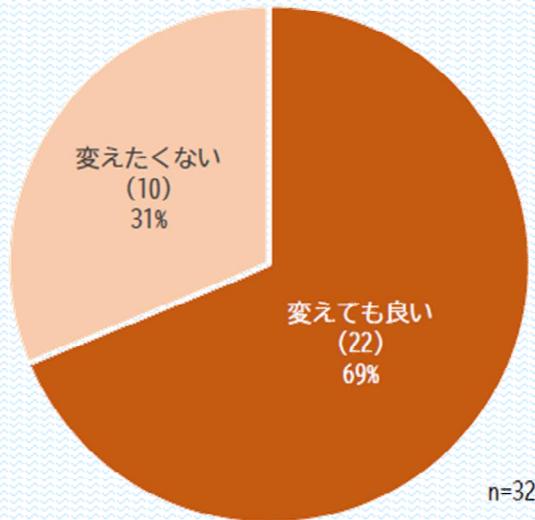
### 一般事業者（飲食等）



### 宿泊事業者



## <仕入れ先の変更>



代替商品導入の際の仕入れ先について、本調査では少量発注の事業者の割合が高かったことも影響し、インターネット等で購入されている事業者も多く、現在の仕入れ先から変えても良いという意見が多くみられた。

### 【自由記載の意見等】

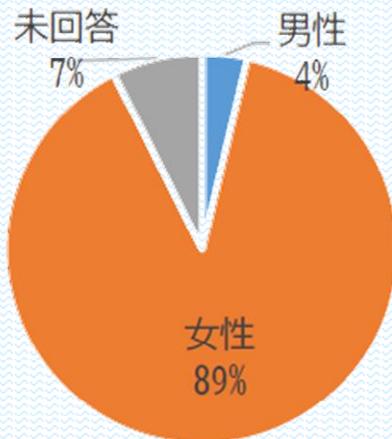
#### ～代替商品導入にあたっての懸念点～

- 現状以上にコストがかからないか心配
- 試行期間以降も継続したい場合に、商品の安定供給（即納）が可能なのか
- 代替商品を導入することで商品の風味などに影響しないかが不安である
- 代替商品を取り入れることで、お客様からの評価にどのような影響が出るのか分からない

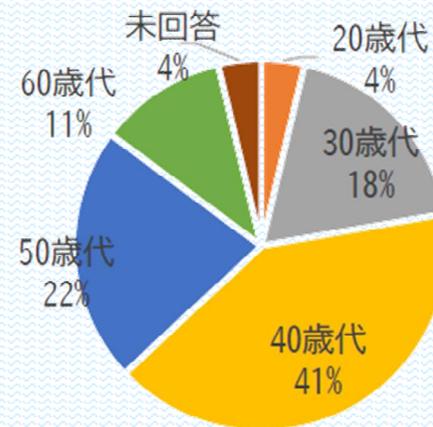
- 代替商品については、価格よりも地球環境への負荷が少なく、画期的なものであるかどうかを重視している。環境保全の観点からは、そもそも海に廃棄されないことが最も重要だと考えている。一方で、生分解性素材は自然に分解されるという特性から、かえってポイ捨てを助長してしまうのではないかという懸念もある。過去にはオリジナルボトルを導入したこともあるが、システムの仕組みが消費者に十分理解されず、定着には至らなかった。
- 海にごみが流出すること自体が深刻な問題であり、単にプラスチック製品を代替するだけでは根本的な解決にはならないのではないかという疑問がある。また、「環境に配慮しているように見せるだけ」の取り組みでは不十分であると考え。実際に、宮島内のボランティア団体が年に数回行っている海岸清掃活動の方が、ごみ問題に対して実効性があると評価している。事業に必ずしも反対という訳ではないが、税金を使うのであればきちんと実効性のあるものに使ってほしい。
- 関心はあるが、以前見積を取った時にガッと単価が上がりなかなか取り入れられずにいたので、今回統一でやろうとなれば取り組みやすいです。
- 補填が続くのであればぜひ参加したい。ポイ捨てを減らすためにはごみ箱を増やすことが一番の解決策であると考え。

- 趣旨  
プラスチック代替商品に対する消費者の意見を把握するため、広島市内でモニター調査を実施
- 調査対象  
20代～60代の女性が中心（27名）
- 手法  
事前の声かけによりモニターを募集し、別日に会場に参集して、商品サンプルを実際に手に取りながらヒアリング

## <回答者の属性>



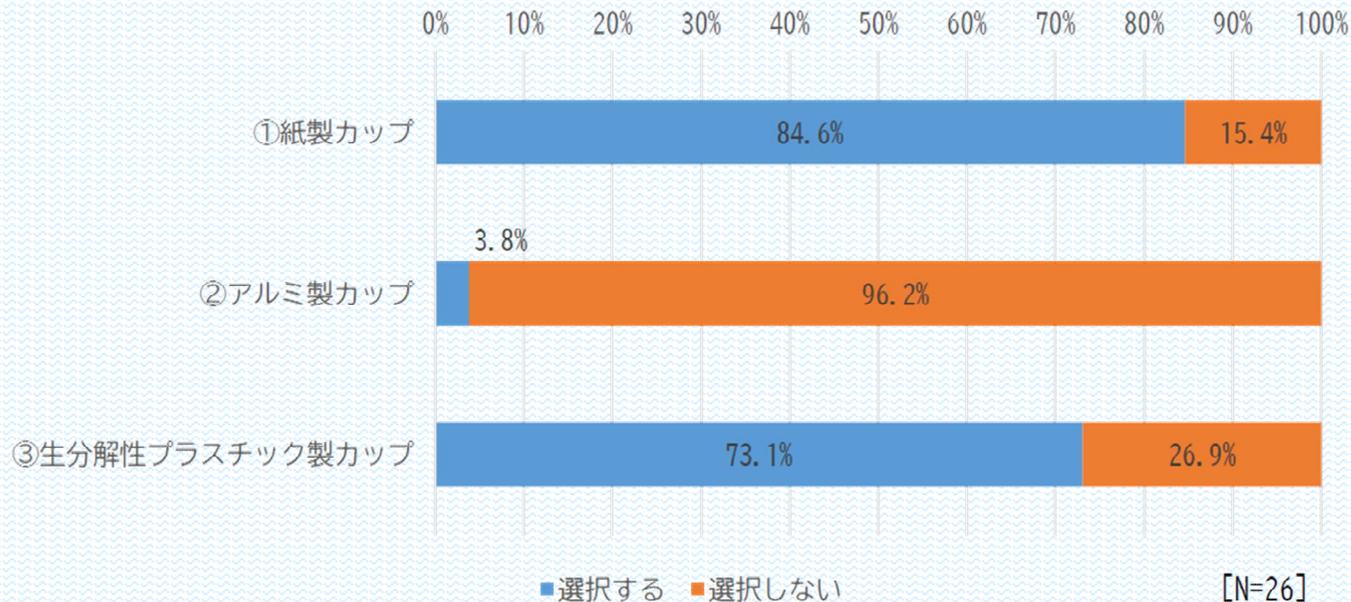
	(人)
男性	1
女性	24
未回答	2
計	27



	(人)
～20歳	0
20歳代	1
30歳代	5
40歳代	11
50歳代	6
60歳代	3
70歳～	0
未回答	1
計	27

- 宮島・宮島口地区において、使用頻度の多い3種類の使い捨てプラスチック製品を対象に、代替素材品の実物を提示
- 代替素材ごとに、消費者として選択するかどうか等についてヒアリング
- 提示した代替商品に対して、基本的には高評価が得られたが、以下の懸念点等が挙がった。
  - 紙製商品：耐水性・耐久性が心配
  - アルミカップ：コスト面や使い心地に対して否定的な意見が多かった
  - カトラリー（口の中に入る商品）：バガス製や木製は舌ざわりが気になる

## <飲料用カップの代替商品>



紙製



アルミ製



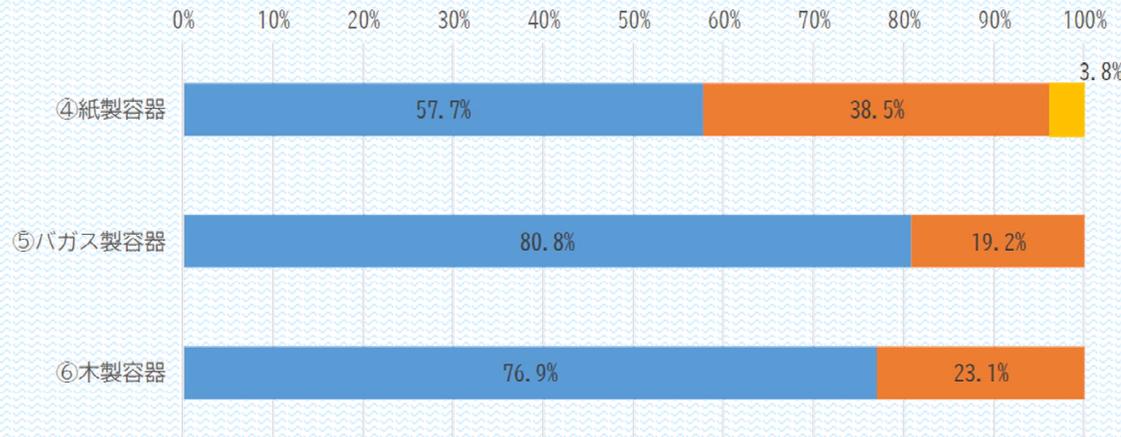
生分解性プラスチック製

# プラスチック代替素材の商品に対する意見

## <テイクアウト容器の代替商品>

[N=26]

■ 選択する ■ 選択しない ■ どちらともいえない



バガス製



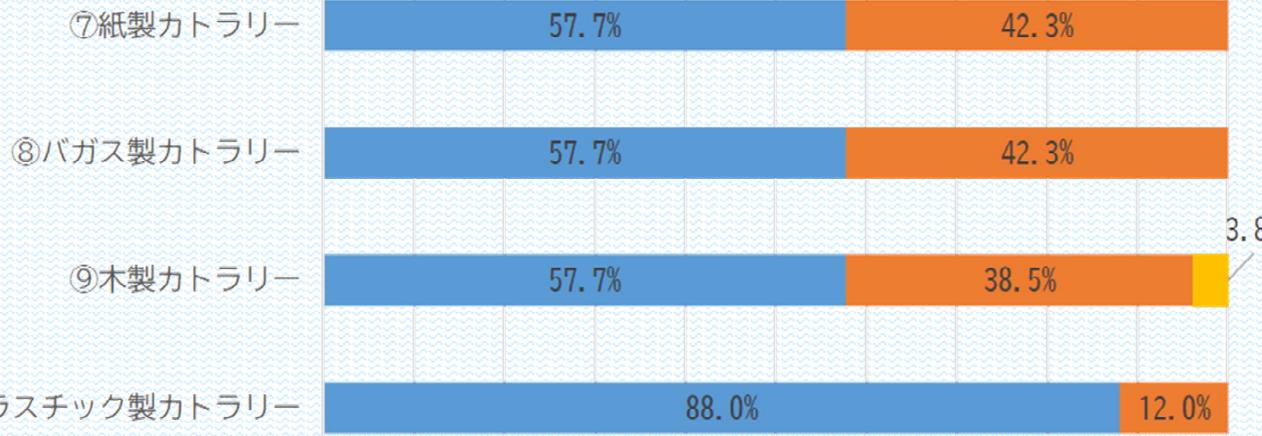
紙製



木製

## <カトラリーの代替商品>

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



バガス製



木製



生分解性  
プラスチック製



# 使い捨てプラスチックの削減に対する関心度等

プラスチックの代替に取り組むことに対する店舗や地域への関心や、自身の参加意欲について確認した。プラスチック削減に対して肯定的な意見が多くみられた。

## <意見の概要>

問	肯定意見の割合	主な意見
プラスチックの使用量削減に取り組む店舗を応援したいか	26名/27名	<p>【肯定】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>積極的にプラスチック使用量削減に取り組むお店の商品を利用すべき</li><li>細やかな気くばりをしてくれそうなお店であると思う</li><li>消費だけでなく、その後の環境のことを考えた姿勢がすてきだと思う</li><li>自分もその取組に参加できるため</li></ul> <p>【否定】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>取組の有無は店舗の選択には影響しない</li></ul>
地域全体でプラスチック削減に取り組む地域に対するイメージ	27名/27名	<p>【肯定】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>地域で取り組むことは地域の人々のつながりが保てることにもなり、住みやすい街、地域のイメージになる</li><li>その地域の“一体感”、“本気度”、地域の調和性が強く感じられ人と人とのつながりが感じられる地域なのであると感じる</li><li>町全体で取り組むことで、一人一人の意識が高まる</li></ul>

問	肯定意見の割合	主な意見
プラスチック削減に対し地域や店舗が取り組んでいることを認知した際の自分自身の意識変容	25名/27名	<p>【肯定】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>意識してマイボトルなども持ち歩きたくなる</li><li>地域全体で取り組むことで個人の取組も進むと思う</li><li>みんなで同じ目的意識を持つことで、自分にもできることをやらねば、という責任が生じる気がする</li><li>個人だとどういったことを改善したりしないと減らないのか、あまり方法が分からないが、地域全体で取り組んでいると、改善点が身近で分かりやすく、自分の生活の中に取り組みやすくなるのかなと思う</li></ul> <p>【否定】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>プラ削減のために選択するというより、提供されたものを使用してしまいそう</li></ul>